日本キリスト教団 東金教会〔３〕

2019年1月20日降誕節第４主日礼拝

年度目標 《キリストに根を下ろして生きる》

聖句 キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられた通りの信仰をしっかり守って… コロサイ2章7節

【礼拝式次第】

司式	井上	里本
奏楽	中里	本川
受付	澤野	上野
案内	藤井	
名札係	森井	
礼拝感謝祈祷	井上	
〃 〃	猪野	

前奏		中里	
讃美歌	7	一同	
使徒信条	566	〃	
交読文	3	司・会衆	
主の祈り	564	一同	
聖書	ルカ福音書5：1～11	司会者	
祈祷		井上	
新聖歌	395	一同	
み言葉の伝え		朴	
〈「きっかけ」となる恵み〉			
讃美歌	392	一同	
献金			
礼拝感謝		井上	
〃 〃		猪野	
報告		井上	
頌栄	541	一同	
祝祷(派遣)		朴	
後奏	新聖歌58	聖歌隊	

【集会案内】

聖書研究祈祷会 1月23日(水)午後7時半～
早天祈祷会 月-金7時(除祭日)メーヤー館
臨時長老会 本日礼拝後
交わり会 本日礼拝後
婦人会・信交会 青年会 本日「交わり会」後
聖書輪読会 1月27日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会 1月27日(日)10:25-10:30

【報告】

☆本日礼拝後交わり会が持たれます。是非お残り下さい。交わり会後は婦人会・信交会・青年会が持たれます。

☆去る１４日持たれました第２２回千葉県信徒大会は「神の家族としての教会」の主題の下に持たれましたが、まことに良き会でありました。参加者にも概ね好評で全体で35教会２５４名の出席、東金教会よりは８名の出席でした。

☆週報でお知らせしました教会学校の開始時間を遅らせ、大人の礼拝を２部制とする案は先週の長老会・ＣＳ教師会合同委員会で討議されました結果延期となりました。高齢者送迎については準備中です。

☆次週1月27日は教会清掃日です。お覚え下さい。なおその日はＣＳおたのしみ会も予定されております。

【1月20日～1月26日の誕生者】

○鈴木 姉 ○孫 姉 ○王 姉
○本城 姉 ※おめでとうございます。
主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(1/13)	16	28	44
聖研祈祷会(1/16)	1	4	5
聖書輪読会(1/13)	2	3	5
教会学校(1/13)	3	11	14

早天祈祷会

日	男	女	計
1/14	1	1	2
1/15	1	2	3
1/16	1	2	3
1/17	1	1	2
1/18	1	1	2

主日礼拝献金(１/13)……３３,８００円
教会学校献金(１/１３)……６,５８０円

【今日のメッセージ】

題 ［「きっかけ」となる恵み］
聖書 ルカ福音書5:1～11

1・逆調のときの姿勢

2・先行する恵み

3・出会いの奇跡

【次週(１月27日)礼拝案内】

題 〈キリストの割礼〉
聖書 コロサイ書2:11～11
交読文 4
讃美歌 3番 355番
新聖歌 38番

【次週(1月２７日)礼拝式当番】

御言葉の伝え	… 中	村上
司式者	… 井	村井
奏楽者	… 中	島延
受付者	… 今	波屋
案内者	… 中	部寺
名札当番	… 安	
礼拝感謝祈祷	… 戸	
〃 〃	… 土	
ｃｓお話し	… 岡	
会堂清掃者	… 薬 師	
〃 〃	…	
花係	… 小	林
看板書き	… 藤	田

【聖書から】

人間の言い伝えに過ぎない哲学、つまり、むなしいだまし事に…気をつけなさい。それは、世を支配する霊に従っており、キリストに従うものではありません。
コロサイ書二章八節

哲学とは何であろうか。それを専攻した身ではないので、その正確な定義はわからない。ただ一般的に言うならば、それは人間の理性を用いて世の事象を観察し、捕らえ、思惟して、その事象に内在する核とも言うべきもの、即ちその事象を事象たらしめている、その本質を明らかにしようとする学とでも言うべきであろうか。その意味ではその哲学は世の学問と称される人間の理性追求の営みの原初的な営みであり、学問の第一歩と言うべきものと言ってよい。そして世の事象であるから、世の全ての事象―即ち、宗教活動と言う事象も―人間の理性によって思惟される側面があることは言うを待たない。事象としての諸宗教活動を宗教学として一般化、並列化した視点からこれを考えるのがこれである。そこでは人間の理性がいわば裁判官となり、世の宗教的諸活動の特長を考察する訳である。けれどもそれは信仰とは大いに異なるものである。時として私達はそれを誤る。つまり自分が裁判官になり、宗教の一分野としてキリスト教を捕らえ、その特質や他の諸宗教と比較しそれを自分の信仰と錯覚してしまうのである。けれどもそれは私達の信仰には余り役立たないものである。たとえばそれは信仰が独善的狂信的になったり、ブレーキをかけるといったような意味では役立つかも知れない。けれども信仰はそうした周辺的な事柄が中心ではない。信仰は自分が裁判官でなく、その宗教の中に入らなければならない。そして中に入るには理性（だけ）ではダメなのである。理性を超えるもの、すなわち人間の限界、思惟の限界を超える存在、即ち神！が必要であり、この御方の招き無くしては人は信仰の本質を知る事はできない。では、聖書における神という表現を好まない）者はキリスト教における神という表現を好まない）はどのような御方か？ 人格神とだけ言いたい。生きたもう、

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。